

2021年12月6日

各 位

株式会社ワイヤレスゲート

## 生駒市の子育て支援事業の DX 化に向けた実証実験を 12 月 13 日から開始

ワイヤレス・リモートサービスを提供する株式会社ワイヤレスゲート（本社：東京都品川区 代表取締役社長 CEO：濱 暢宏 以下、当社）は、奈良県生駒市の子育て支援事業における「入退室管理業務」と「日誌の記録業務」の DX 化に関する実証実験を 2021 年 12 月 13 日～2022 年 1 月 20 日の期間で実施いたします。



### ■実証実験までの経緯

当社は、逆プロポ（官民共創によって新規事業を生み出す株式会社 SOCIALX（本社：東京都渋谷区 代表取締役：伊佐治 幸泰）のサービス）を活用し、生駒市と子育て支援事業における課題解決の協議を重ねて参りました。生駒市が運営する子育て支援総合センター内のみっきランド(※)の入室受付は、申込用紙に都度必要事項を手書きで記入する手続きとなっており、利用者の負担となっていました。また、みっきランド運営を行う自治体職員の日誌記録業務においては、紙の台帳への手書き記録にて管理をしており保存場所確保という課題と、利用状況の把握や検索・集計、日報・月報の作成に時間がかかるという課題がありました。今回の実証実験では、入退室管理及び日誌の記録業務など紙ベースによる業務の DX 化により、地域子育て支援拠点「みっきランド」の利便性向上および自治体職員の業務効率化の実運用を目指した効果検証を行います。

### ■実証実験の概要

会場：みっきランド

期間：2021 年 12 月 13 日～2022 年 1 月 20 日

参加対象者：期間中の来場者の内、実証実験主旨に賛同いただける方

内容：QR コード機能、Web データベース機能等を活用した入退室管理業務と日誌の記録業務の運用



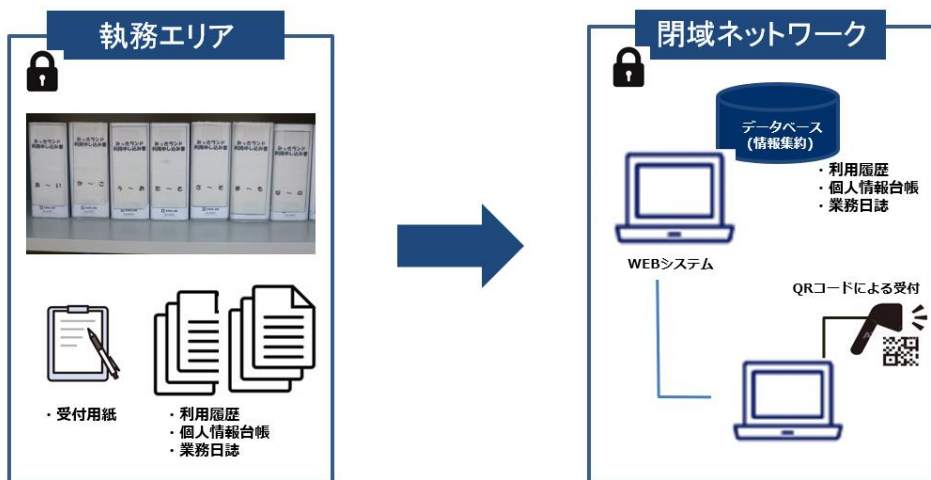
(写真左：従来のみっきランド受付用紙記入の様子)



(写真右：実証実験中のみっきランド受付 DX 化の様子)

## ■導入するシステムについて

子育て支援事業においては、住民の個人情報等を取り扱うために従来は紙の書類を束ねたファイルを執務エリアの鍵付きロッカーで厳重管理してきました。DX化においても同等のセキュリティの実現が求められ、両者協議の結果、閉域ネットワーク（インターネットに接続しない環境）においてDX化を進めることとなりました。閉域ネットワーク上で動作するシステムを当社が構築したことにより、自治体の求めるセキュリティ要件を満たしつつ、QRコード機能を活用した入退室管理業務やこれまで紙台帳で管理されていた業務日誌のDX化が可能となりました。更に、データベースに情報が集約されるため、検索や集計が容易になりました。尚、今回採用されたシステムは、ローコードで開発を行っており、短期間・低価格で実現。導入後に機能追加等が必要となった際、自治体職員自身で実装対応が可能であり、持続的な業務効率化と共に、従来の行政のシステム改修と比べたタイムラグ軽減によりスピーディーに行政サービス改善を実現することができます。



## ■生駒市役所 子育て支援総合センター 三宅様のコメント

「大きな荷物にベビーカー、時には生まれたばかりのお子さんをごきょうだいを連れて、みっきランドに遊びに来てくださる利用者みなさんを見て、もっと手軽で簡単な受付方法はないかと考えておりました。この度、株式会社ワイヤレスゲート様の協力を得て、実証実験に参加させていただけることを機に、そのような課題解決に繋がれば幸いです。また、自治体の事務的な仕事はまだ紙で記録するなど、アナログな部分がたくさんあります。DX化を推進することで、業務の効率化を図ります。」

## ■今後の展開

今回のシステムは、生駒市の子育て支援事業への本導入及び生駒市内で同様の課題を抱える他の行政サービスへの提案を進めると共に、市役所外の高齢者や児童向け福祉施設やこども食堂等への活用、更には全国の地方自治体への提案活動も進めていきます。また、今後も当社は官民共創により地域の課題解決に取り組んで参ります。

(※) おもちゃ・絵本・室内遊具などがある子育てサロンです。利用対象者は、奈良県 生駒市内にお住まいで、おおむね就園前のお子様（0・1・2歳児）とその保護者です。

「リモートライフ時代のソリューション・ディストリビューター」を目指す当社は、住みやすい地域を実現するサービスの創出により、多様化する社会課題の解決に貢献していきます。

【本件に関する問い合わせ先】 社長室 広報担当 宮寄 pr@wirelessgate.co.jp